

給与支払報告書 特別徴収に係る給与所得者異動届出書

記入例 (退職)

市町村長殿 令和××年○○月△△日提出		所在地 〒012-3456 ○○県××市△△1-2-3	特別徴収義務者 指定番号 80001	1. 現年度	2. 新年度	3. 両年度
〔特別徴収者〕 給与支払者		フリガナ カブシキガイシャ マルバツショウジ	宛名番号 1			
氏名又は名称 株式会社 ○×商事		個人番号 又は法人番号 111111111111111111	所属 人事課人事労務係			
連当 者先		氏名 特徴 花子	電話 000-000-0000 内線 (123)			
給与所得者	フリガナ 鈴木 一郎	(ア) 特別徴収税額 (年税額) 140,000	(イ) 徴収済額 35,600 円	(ウ) 未徴収税額 (ア) - (イ) 104,400 円	異動 年月日 ××年 8月 31日	異動の事由 1. 退職 2. 転職 3. 休職 4. 死亡 5. 支払少額 6. 合併 7. その他 〔事由・理由〕
	生年月日 50年 1月 1日					異動後の未徴収 税額の徴収方法 3 1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)
	個人番号 222222222222					
	受給者番号 123456					
	1月1日 現在の住所 ○○県××市△△3-2-1					
	異動後の 住所					

1. 特別徴収継続の場合

新しい勤務先(特別徴収義務者)	特別徴収義務者 指定番号	〒	新しい勤務先へは、月割額 _____ 円を _____ 月分(翌月10日納入期限分)から 徴収し、納入するよう連絡済みです。
所在地	フリガナ	氏名又は名称	受給者番号
		納入書(新規の場合) <input type="checkbox"/> 右から 番号を記入 1. 必要 2. 不要	

8月末で退職した給与所得者の徴収方法を、9月分から普通徴収に変更する場合。

(ア) 特別徴収税額(年税額) 140,000円(6月から翌年5月分)

(イ) 徴収済額 35,600円(6月から8月分)

(ウ) 未徴収税額 104,400円(9月から翌年5月分)

↑
普通徴収税額

2. 一括徴収の場合

理由	<input type="checkbox"/> 1. 異動が令和××年12月31日までで、一括徴収の申出があったため <input type="checkbox"/> 2. 異動が令和××年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため	徴収予定月日 ____月 ____日	徴収予定額 (上記(ウ)と同額)	退職日を記入してください。(____月____日____期限分)で
----	--	-----------------------	---------------------	-----------------------------------

3. 普通徴収の場合

理由	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 異動が令和××年12月31日までで、一括徴収の申出がないため <input type="checkbox"/> 2. 令和××年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため <input type="checkbox"/> 3. 死亡による退職であるため	※市町村記入欄
----	--	---------